

## WG 活動報告

### 17. HLAと移植成績

#### ① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者：神田 善伸	自治医科大学附属 さいたま医療センター	血液科
池亀 和博	兵庫医科大学病院	血液内科
諫田 淳也	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
森島 泰雄	愛知県がんセンター研究所	疫学・予防部
渡邊 修大	社会保険中京病院	小児科
川瀬 孝和	Fred Hutchinson Cancer Research Center	Program in Immunology
一戸 辰夫	佐賀大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
森島 聡子	藤田保健衛生大学	血液内科
増子 正義	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部
前田 嘉信	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
横山 寿行	仙台医療センター	血液内科
辻 正徳	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
田中 淳司	北海道大学病院	血液内科
宇都宮 與	財団法人慈愛会今村病院分院	血液内科
松野 良介	昭和大学藤が丘病院	小児科
小林 武	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
高橋 義行	名古屋大学医学部附属病院	小児科
鬼塚 真仁	東海大学医学部附属病院	血液腫瘍内科
鍬塚 八千代	Medical College of Wisconsin	Center for International Blood and Marrow Transplant Research
村田 誠	名古屋大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
玉置 広哉	兵庫医科大学病院	血液内科
矢部 普正	東海大学医学部附属病院	再生医療科学
加藤 俊一	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
金 成元	国立がん研究センター 中央病院	血液腫瘍科・造血幹細胞移植科
高塚 祥芝	財団法人慈愛会今村病院分院	血液内科
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会虎の門病院分院	血液内科
小川 淳	新潟県立がんセンター新潟病院	小児科
熱田 由子	名古屋大学医学部附属病院	造血細胞移植情報管理・生物統計学
西田 徹也	名古屋大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
屋部 登志雄	東京都赤十字血液センター	製剤部製剤三課製剤一係長
高梨 美乃子	東京都赤十字血液センター	製剤部長
星野 匠臣	群馬大学医学部附属病院	血液内科
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液内科

## ② 2011 年末時点で承認された研究、及び業績一覧

「GVHD が生じると GVL 効果があるのは事実か? : 血縁、非血縁ドナーからの造血幹細胞移植における HLA 座適合度別解析」 PI: 森島 泰雄
学会発表・論文業績:「未発表」・「解析中」
「アジア・太平洋地区における HLA を基盤にした人種別同種移植免疫反応の比較解析」 PI: 森島 泰雄
学会発表・論文業績:「未発表」・「解析中」
「非血縁者間骨髄移植における年代別のアレル不適合の影響」 PI: 神田 善伸
学会発表・論文業績:「未発表」・「解析中」
「非血縁者間臍帯血移植(UCBT)における HLA 不一致度と感染症発症頻度」 PI: 加藤 俊一
学会発表・論文業績:「未発表」・「解析中」
「非血縁者間骨髄移植(UBMT)における HLA 抗原(血清型)不一致移植成績」 PI: 加藤 俊一
学会発表・論文業績:「未発表」・「解析中」
「Reduced intensity conditioning を用いた非血縁者間骨髄移植における HLA 不一致の影響」 PI: 横山 寿行
学会発表・論文業績:「未発表」・「解析中」
「HLA 適合血縁者間移植と HLA 適合非血縁者間移植における HLA ハプロタイプ、HLA 型に基づく移植免疫反応の解析」 PI: 森島 聡子
学会発表・論文業績:「未発表」・「解析中」
「KIR リガンド不適合が移植成績に及ぼす影響の検討」 PI: 田中 淳司
学会発表・論文業績:「未発表」・「解析中」
「造血幹細胞移植における HLA 型・HLA ハプロタイプ型と感染症発症頻度」 PI: 川瀬 孝和
学会発表・論文業績:「未発表」・「解析中」
「T 細胞除去を用いない HLA 不一致親子間移植においてレシピエントとドナーとの血縁関係が移植成績に与える影響の検討」 PI: 一戸 辰夫
学会発表・論文業績:「未発表」・「解析中」
「非血縁者間臍帯血移植における HLA 不適合度と移植成績」 PI: 熱田 由子
学会発表・論文業績:「未発表」・「解析中」
「非血縁者間臍帯血移植における GVH 方向 HLA 不適合あるいは HVG 方向 HLA 不適合が移植成績に及ぼす影響」 PI: 諫田 淳也
学会発表・論文業績:「未発表」・「解析中」

## ③ 会議開催記録(2011 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2011/1/15	都立駒込病院	WG の運営方法、データのクリーニング方法などについてなど。
2011/7/2	名古屋第一赤十字病院	HL データのクリーニングについて、C 座のデータ利用について、解析手法についてなど。

## ④ WG の今後の活動方針・抱負など

現在、HLA-WG では 12 件の研究が進行中である。2 回の会議の開催に加えてメーリングリスト上でも活発な討論が行われ、メーリングリストの発言件数は既に 390 件に達している。H23 年には学会、論文発表には至らなかったが、その背景には HLA-WG の最も重要なデータである HLA について、データベースの中に欠損値や誤入力が多く認められたため、これらのデータの処理について入念な検討を行ってから研究を開始したことが挙げられる。拙速な研究を行うよりも正確な解析を行うことが重要である。HLA-WG では HLA 型以外についても様々なデータの欠損、誤入力に対応するための R および Stata のスクリプトを作成しており、今後、全 WG に配布する予定である。これらのツールを活用して、今後は正確かつ迅速な研究の発展が期待できる。